

東久留米市検討部会 会議録

1. 会議名 第8回東久留米市第二次緑の基本計画中間見直し検討部会
2. 日時 平成29年10月27日(金) 午前9時00分から午前11時30分
3. 場所 東久留米市役所3階 庁議室
4. 出席委員氏名(敬称略) 杉原弘恭(会長)、水戸部啓一(副部会長)、豊福正己、
下村央行、高橋喜代治、大塚ちか子、田中潤子、
菅谷輝美、草刈秀紀、古澤毅彦、武内浩司(以上11名)
5. 欠席委員氏名(敬称略) なし
6. 事務局職員名 小泉環境政策課長、小平計画調整係長、
浅海緑と公園係長、齊藤計画調査係主事
7. コンサルタント会社(アジア航測株式会社) 深見幹朗、藤原真太郎
8. 傍聴人 0名
9. 次第
 - (1) (報告) 全体スケジュールについて(参考資料1)
 - (2) (議題1) 第7回会議記録の確認(資料1)
 - (3) (議題2) 素案の検討(資料2、資料2-1)
 - ①環境審議会での審議内容等の検討
 - ②コラム・写真・表紙項目等の検討(資料3)
 - (4) (議題3) 指標種(環境タイプと主な生物種)について(資料4)
 - ①主な生物種の選定
 - (5) (その他) 環境シンポジウムについて(資料5)

<配布資料>

- 資料1 第7回検討部会記録(案)
- 資料2 第二次緑の基本計画・生物多様性地域戦略(素案)
- 資料2-1 環境審議会での審議内容と事務局見解
- 資料3 掲載コラム・解説について
- 資料4 主な生物種(観察種・代表種)の案
- 資料5 環境シンポジウム企画書(案)

<参考資料>

- 参考資料1 東久留米市第二次緑の基本計画中間見直しスケジュール(案)

10. 第7回東久留米市第二次緑の基本計画中間見直し検討部会

- ・出欠席者の報告 出席 11 名 欠席 0 名 定足数に達しており会議は成立
- ・傍聴者について 本日は傍聴者はなし

(1) (報告) 全体スケジュールについて(参考資料1)

【事務局】

- ・全体スケジュールについて説明する。
- ・前回までの会議の議論を踏まえ、計画の骨子案を環境審議会に報告した。
- ・本日の会議ではその意見への対応と、資料編・コラムの確認・検討を行っていただきたい。
- ・本日の会議を踏まえ、東京都との協議を行っていく。
- ・主な生物種についても引き続き検討をお願いしたい。
- ・11月19日のシンポジウムについて、保全団体の視点から東久留米市の生きものの発表をお願いしたく、発表者の選出をお願いしたい。
- ・場合により、主な生物種の選定、環境シンポジウムの発表内容については、検討部会とは別に会議の開催をお願いしたい。

【委員】

- ・第9回会議はいつごろになるか。

【事務局】

- ・11月24日(金)を予定している。

【委員】

- ・時間は10-12時であれば出席できる。

【部長】

- ・それでは、当日は 10 時から 12 時での開催とする。

【部 会 長】

- ・他に質問がないようなので、議題 1 に移る。

(議題 1) 第 7 回会議記録の確認 (資料 1)

【事 務 局】

- ・資料 1 に基づいて、第 7 回検討部会の会議録の説明を行った。
- ・議事録の送付が遅くなったため、本日、議事録をご確認いただき、修正等があれば、その内容を反映して会議録として確定する。

【委 員】

- ・P5 の上から 4 行目の「アーカイブ」を「資料館」ということばに修正してほしい。

【部 会 長】

- ・一部修正していただき、この内容で会議録を決定する。

(3) (議題 2) 素案の検討 (資料 2、資料 2-1)

①環境審議会での審議内容等の検討

【部 会 長】

- ・「環境審議会での審議内容等の検討」について、事務局より説明をお願いします。

【事 務 局】

- ・前回までの会議、及び会議後の意見を踏まえた案を環境審議会に報告を行った。
- ・そこでの意見と事務局の対応案を説明する。
- ・「人口減少問題について具体的に対応できる施策が記載されていない」という意見に対しては、人口減少問題は本計画の計画期間外（平成 37 年以降）の問題と考えるので本文では扱わないが、コラムで記載することとした。
- ・「第三章以降に記載されている計画の本編までの前段が長く、重複した表現もあるため、スリム化をすべき」という意見に対しては、「問題点と今後の課題」「中間見直しの方向性」の内容をまとめ、重複した表現を見直した。18 の拠点は 1 ページに 2 拠点を掲載するように整理した。
- ・その他の事項についても、指摘を踏まえて反映していく。

【部 会 長】

- ・ここまでの説明で、ご質問や修正・加筆事項等があればお願いします。

【副 部 会 長】

- ・まだ、前段が長い。この計画で本当に必要なところは第3章である。中間見直しなので、第2次緑の基本計画のレビューをするだけでよかった。
- ・第2章(1)「緑の減少の食い止め」では、小見出し①～④の記載には問題があり、これが適切かどうか。沢山書いてあるが、もっと対応の方向性にスポットをあてた方がよい。①は全体の事情、②以降は対策であり、異なる内容が併記されてしまっている。
- ・緑の減少を食い止めるということが方向性なのであれば、緑が減少している、という全体の話題があつて、それに対する対策が①、②、③と続くイメージである。

【委員】

- ・問題と見直しの方向が体系的に示されていないように感じる。

【委員】

- ・減少の本当の原因は、宅地化による農地の減少である。これに対して「公有化の資金が少ない」のではなく「税制度」が問題であり、それについてわかりやすく、つながりを書くことよい。

【部長】

- ・見直しの過程で、現計画よりも全体の課題と必要な対策が明確になったので、その旨を明確に記載すればよい。具体的に、中間見直しの過程で明らかになった問題や課題を書き込むことが必要である。

【委員】

- ・生物多様性地域「戦略」なので、論理的に戦略的に整理できるとよい。

【副部長】

- ・課題と方向性をわかりやすく伝えること。

【副部長】

- ・「(2) 生きものに関する取り組みの推進」については、市内の分布状況の変化が課題となる。現況のデータがないので変化の原因は曖昧だが、緑や水辺の減少が一因として考えられる。それらを回復していくことが必要で、そのための対策として市民参加の取り組みが必要である。そして、対策を体系的に進めるための生物多様性地域戦略がある、という構成ではないか。

【部長】

- ・「(3) 市民活動の拡大」は緑と生きものを含む、計画全体につながる項目であるため、「(1) 緑の減少の食い止め」や「(2) 生きものに関する取り組みの促進」とは明確に区別して記載する必要がある。

【副部長】

- ・市民活動の問題は、それぞれの活動に繋がりが無いことである。アンケート調査の結果等から、現在の市民活動の状況を整理して、活動の盛り上がりの状況や、市民それぞれの意識が上がったのか下がったのか、もう少し掘り下げて、盛り込んでどうか。

【部 会 長】

- ・各市民が活動に参加できるよう、つながりの構築も含めるとよいだろう。

【副 部 会 長】

- ・第2章のタイトルが「課題と方向性」となっているので、タイトルに合わせて中間見直しの方向性がしっかりとわかるような記載にすること。章のなかで大きな方向性を明確に示し、各方向性の書きぶりを揃えたうえで、第3章につなげるべきである。

【委 員】

- ・課題と方向性を、フォーマットに当てはめて考えてみると良いだろう。

【服 部 会 長】

- ・行間に隙間をあけるなどの工夫だけでも、読みやすくなる。

【部 会 長】

- ・事務局は構成と記載を見直すこと。

【部 会 長】

- ・また、第3章について、18の拠点を1ページあたり2拠点の掲載する構成に変更した。

【副 部 会 長】

- ・そもそも、現計画における「水と緑の将来像」は、系統図の施策の体系が市民にはわかりづらいために、将来はこのようにしたいというイメージを整理して示したものであった。検討の過程で拠点の説明が書きこまれて読み物化してきており、本来の意図から外れてきている。

【委 員】

- ・現計画においても、将来像は、計画の主たる部分に位置づけられていた。今回の計画でも主として位置づけられるべきである。

【委 員】

- ・本文中に「計画」という文言が多い。第1章のタイトルなど。記載が丁寧すぎてかえってわかりづらくなっているため、市民にもわかりやすい簡潔な表記に努めること。

【委 員】

- ・18の拠点について、個別の紹介ページは不要ではないか。

【副 部 会 長】

- ・市民に拠点を身近なものに感じてもらうために必要である。

【事 務 局】

- ・「金山」に記載されているカワセミの記載は「南沢」に移してもよいのではないか。

【委 員】

- ・確かに、金山でカワセミは確認されるが、餌とりはあまり見られない。

【部 会 長】

- ・地域を保全する視点から、あえて金山にカワセミを記載してもよいのでは。

【委 員】

- ・市民目線では、金山よりも南沢に記載したほうが適切だと思う。

【事 務 局】

- ・南沢に限らず、カワセミが市内のいたるところに生息していることを示したいと考えている。

【副 部 会 長】

- ・金山のイメージは水辺というよりも森である。カワセミは川のイメージがある拠点に記載してはどうか。例えば「野火止」など。金山には植生的な特徴を記載すればよいのではないか。

【委 員】

- ・カワセミの記載自体を削除することも一案である。

【委 員】

- ・動物は移動するので、「各拠点でみられる」といった、動的な記載にできないか。

【事 務 局】

- ・各拠点の説明において、生きものや生息環境に関する記載は含めたい。

【部 会 長】

- ・以上の議論を踏まえて、カワセミは「野火止」に記載することとする。

【副 部 会 長】

- ・p34,35 計画の目標について、記載が2ページにわたっており、冗長だと感じる。不要な記載を省き、1ページに収めること。また、現況は資料編に掲載すること。以下の構成として、表を1つにまとめるとよいのではないか。

① 緑に関する目標

- ・緑被率に関する目標
- ・緑地に関する目標
- ・農地に関する目標
- ・公園緑地等の整備に関する目標

- ② 水質に関する目標
- ③ 生きものの保全に関する目標

・また、p34,35 見出しの体裁について「(1) →①→1)」よりも、「(1) →1) →①)」の方がしっくりくる。

【委員】

- ・p35 小平霊園の面積について確認すること。
- ・p27 自由学園内は河川が暗渠とあるが、弁天川や西妻川、出水川も暗渠の区間がある。これらについても、暗渠の区間は、暗渠とわかるように点線で表記すること。

【委員】

- ・p4 生きものの現況について、東久留米市に特有の湧水環境や特徴を計画の背景としてももう少し記載できないか。「質の高い環境」であることや、履歴の古い植生があることが特色であることを記載したい。

【事務局】

- ・コラム案において生きものの地域性を記載しているものがあり、そちらにまとめたい。

【委員】

- ・p10 「生態系被害防止外来種」という言葉は法律上存在しない言葉であるため、適切な用語を使うべきである。

【副部長】

- ・難解な語句については、できるだけ注釈を用いずに説明できるように記載を工夫すること。

【部長】

- ・外来種については、関連用語集かコラムとして扱ってもよいだろう。

【委員】

- ・p11 解説に記載されている生物多様性への4大危機は、生物多様性国家戦略からの引用であることを示すこと。

【副部長】

- ・p12 解説は本文の解説なので、解説を読んで、更にわからない語句が生じないように留意すること。全体として本文はわかりやすい記載に心がけること。

【事務局】

- ・コラム案に平易な表現としている。

【事務局】

- ・p5 河川が表示されている図面について、河川の位置及び開渠、暗渠の別を正しく表現すること。併せて、湧水地点の凡例（△）も大きく表示すること。

【副 部 会 長】

- ・河川の情報は水域の保全に係るので、修正が必要である。

【事務局】

- ・河川網図を参考に修正することを検討する。

【部 会 長】

- ・市民の感覚に近いものにするため、暗渠部は点線表記として表現すること。

②コラム・写真・表紙項目等の検討

【部 会 長】

- ・「②コラム・写真・表紙項目等の検討」について、事務局より説明をお願いする。

【事務局】

- ・「コラム・解説」について、既存のものと、各委員から提案のあったものを整理したところ、現時点で10のコラム案がある。記載できるスペースにも限りがあるので更に整理したいと考える。意見をいただき、修正等を行っていく。
- ・生物多様性に関するこれまでの記載は整理し、エコロジカルフットプリントの考え方を加えている。
- ・「10. 人口減少社会における緑の確保について」は、環境審議会からの意見に基づいて作成したものである。

【副 部 会 長】

- ・全体としてコラムの数が多く、それぞれの文章が長いと感じる。コラムは関心を持ってもらうために挿入することが多いので、短文でも構わない。

【部 会 長】

- ・現案では、用語の解説に脚注を用いているが、全体的に脚注も多い印象である。

【副 部 会 長】

- ・本文は脚注がなくてもわかる記載にすべきである。

【委 員】

- ・明治時代前期につくられた地引図、迅速地図等の土地利用について詳細な資料のある東久留米の歴史と絡めて記載しているコラムがあると、身近でわかりやすい。

【部 会 長】

- ・解説は本文から削り、計画の主目的に合致する内容のみをコラムとして本編に記載することとする。

【委員】

- ・コラムと解説はどこに挿入するのがよいか。

【副 部 会 長】

- ・コラムは箸休めなので、難しい話のあとに挿入することが多い。

【委員】

- ・計画本文では直接の記載がないが、記載した方がよい名称もある。例えば、自然資本や愛知目標や SDGs など。

【副 部 会 長】

- ・本文に関係がないモノは、資料編に記載する整理としたい。

【部 会 長】

- ・このあたりの整理も含めて、資料編は早めに整理して共有したい。現在、環境基本計画と緑地保全計画に記載されている関連用語集の原案は私が作成して、皆さんにメールで調整していただく様にする。次回の検討部会で大筋確定させたい。

(2) (議題3) 指標種 (環境タイプと主な生物種) について (資料4)

【部 会 長】

- ・指標種の環境タイプと主な生物種について、事務局より説明いただく。

【事 務 局】

- ・今後の、点検評価の指標と、観察会等の推奨種としての「主な生物種」の選定について、前回の会議以降、各団体から観察可能な種の報告をいただき、資料の更新を行った。
- ・東久留米市の特性を踏まえ、もれや除外等、再度の確認をお願いしたい。
- ・記載の詳細についてはコンサルから説明する。

【事 務 局】

- ・前回の検討部会後に、各市民団体から観察種についての情報を提供いただいた。
- ・提供情報をもとに、指標種を再度整理した。
- ・観察種が 30 種、代表種 (毎年) が 263 種、代表種 (5 年) が 291 種となった。数の多少や選定種の可否について議論いただきたい。

【事 務 局】

- ・各団体の調査結果を踏まえると、代表種 (1 年) と代表種 (5 年毎) の違いが小さくなっている。
- ・生きもの調査については、市でも予算化の保障がなく、各団体でも調査が実施

できない場合も想定されるため、それぞれ補完的な役割を担っていければと考えている。

【部 会 長】

- ・ここまでの説明で、質問等があればお願いします。
- ・また、具体的な種の入替について意見をお願いします。

【副 部 会 長】

- ・代表種（5年毎）は東久留米市で予算化して調査を行う前提で検討すること。
- ・観察種（毎年）は、観察の条件と基準を揃える必要がある。もともとは生息生育環境の状況とそこにいる生物種をセットで確認しようという趣旨であったが、予算等の制約から、生きものが「いる/いない」程度の把握が限界であろう。

【部 会 長】

- ・今回の指標種設定の大きな意義の一つは、市内の動植物種について市民やこれまでバラバラに活動してきた市民団体が情報共有して認識できることにあると考える。

【副 部 会 長】

- ・観察種（毎年）及び代表種（毎年）が指標として耐えられるかどうかの観点からも検討が必要である。

【部 会 長】

- ・施策30「生きもの調査の実施」と点検評価項目14「生きものモニタリング」の箇所の整合性はお忘れなく。具体的な調査の手法や分担については、東久留米市と市民団体が調整をしていくことになるだろう。

【副 部 会 長】

- ・本当に継続的に調査ができるのか、保証がないことが心配である。

【委 員】

- ・活動を続けるなかで、提供できる情報は可能な限り提供したいと考えているが、先のことはわからない。

【事 務 局】

- ・毎年の取りまとめは、東久留米市が行うことになるだろう。

【委 員】

- ・市民環境会議では、観察種のうち調べやすい1、2種程度を市民に周知し、調査を依頼する予定である。
- ・確認状況の報告は、ハガキやSNSを想定している。

【副 部 会 長】

- ・確認状況の報告について、妙案はないだろうか。市が手をかけなくても情報があるまつ仕組みが作れるとよい。

【事務局】

- ・議会でも他事例について同様の質問があったが、受け口となるウェブサイトを市が設けることは難しいとの結論に至った。

【委員】

- ・確認地点の位置情報はできるだけ得られるとよい。また、正確な種名はわからなくとも、種別だけでもわかるとよい。

【部会長】

- ・指標種 30 種については、別途、会議を設けて検討する。(部会長)

(3) その他（環境シンポジウムについて）（資料5）

【部会長】

- ・「環境シンポジウム」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

- ・環境シンポジウムについて、委員さんが各学校との調整をしており、準備を進めている。
- ・発表時間が短くなる可能性もあるが、委員の方々に講演 4 の発表もお願いしたいと考えている。講演内容は、市内の生きものの生息状況や保全活動についてを想定している。

【部会長】

- ・講演 4 の発表者は、東久留米市内の生きものについて、委員の方にもお願いしたい。

【委員】

- ・当日は昼過ぎからリハーサルが可能である。

(4) その他（今後の予定について）

【事務局】

- ・次回の検討部会は 11 月 24 日（金）を予定している。
- ・環境シンポジウムの関係者は 11 月 10 日（金）に打ち合わせを行いたい。
- ・日程については改めて連絡する。

(5) 閉会

【部会長】

- ・これで本日予定されていたすべての議題が終了した。
- ・第 8 回東久留米市第二次緑の基本計画中間見直し検討部会を終了する。ありがとうございました。

以上